

安全保障理事会決議 2425 (2018)

2018年6月29日、安全保障理事会第8302回会合にて採択

安全保障理事会は、

スーダンにおける状況に関する、安保理決議 2363 (2017) を含む、あらゆる安保理の従前の諸決議および安保理議長諸声明を想起し、そしてこれらの完全遵守の重要性を強調し、

ダルフール国際連合・アフリカ連合同合同ミッション (UNAMID) の再検討に関するアフリカ連合委員会委員長と国際連合事務総長の特別報告書に感謝しつつ留意し、

スーダンの主権、統一、独立および領土保全に対する安保理の強い公約およびスーダンにおける様々な課題に取り組むことを支援するため、その主権を十分に尊重して、スーダン政府と協働する安保理の決意を再確認し、

スーダンにおける事態が、国際の平和および安全に対する脅威を構成し続けていることを認定して、

1. UNAMID の職務権限を 2018 年 7 月 13 日まで延長することを決定する。

2. 国連憲章第 7 章に基づいて行動して、安保理決議 1769 (2007) の第 15 項において規定され、安保理決議 2363 (2017) の第 15 項で更に練られた、必要な行動を取るための許可を延長することを決定し、そして UNAMID に対し、それ自身およびその職務権限に対する何らかの脅威を阻止することを促す。

3. この問題に引き続き取り組むことを決定する。